令和3年8月27日発刊

ケアマネ通信

第12号
2021
Aug.

今月の表紙：ケアネットつづきケアマネ部会

「都筑区内には事業所連絡会ケアネットつづきがあり、その中にケアマネ部会が存在します。

ケアマネ部会は都筑区内に利用者を担当する居宅介護支援事業所が会員となっており、会員相互の質の向上のための勉強会や事例相談会、地域への働き等を行います。ケアマネ部会は福祉のみならず、障害の分野でも地域に貢献できる会になるよう、会員皆で作り上げていく事を目標としています。

会員が「ケアマネ部会は何でも相談できる会」と思って貰えるような部会を目指します。」

ケアネットつづきケアマネ部会

目　次

神奈川県介護支援専門員協会第６期・７期理事紹介 …… 2
LINE を使った事業所間の情報連携 …… 4
2021 年度　生涯研修体系構築・推進委員会による研修会のお知らせ …… 6
「初めての Zoom 研修」開催報告 …… 7
Zoom の開催の仕方 …… 8
ケアマネリレーコラム …… 10
歴史こぼれ話～十二～ …… 11
編集後記 …… 11
インフォメーション …… 12

神奈川県介護支援専門員協会第6期・7期理事紹介

諏訪部理事長

この度、理事長に就任することとなりました諏訪部弘之と申します。前任の青地様より理事長という大役を引き継ぎ、身の引き締まる思いが致します。前理事長の青地様は、「高い倫理観をもち、利用者の立場にたったケアマネジメントを実践すること」「質の高い介護サービスやインフォーマルサポートなどの支援が利用できるようにすること」という協会の理念を中心に、協会活動にご尽力して参られました。私もその想いを引き継いでいく所存でございます。

ただ今現在、新型コロナウイルスなどの影響により、私たちに求められることは大きく変わってきています。例えば、オンラインを使った研修やカンファレンスといった場面もこの１年で急激に発達してきました。ICTやAIといった言葉もこの業界で当たり前になりつつあり、LIFEといった科学的根拠をもった支援も始まってきています。このような新しい生活スタイルに当然私たちも対応しなければなりません。

加えて感染対策や事業継続計画、新たな委員会や指針の整備、様々な加算など、介護保険が始まった当初では全く想定もしていなかった日々の業務は、複雑・多岐にわたっています。今後、高齢者は増え、働き手人口は減っていきます。たとえ複雑化していく制度だとしても、我々は職能団体として、一定の援助の質を保てるような工夫をしていかなければならないと思います。

そのうえで、私たちは介護保険事務屋ではない、生活を支える専門職として、利用者の尊厳を大切にし、自立支援を目指せるよう、対人援助、地域支援、多職種連携、災害対策といった根本かつ基本的な姿勢を大切にしていきたいと考えております。

協会は会員の皆様と共に活動していく場です。これからも、皆様と一緒に活動し、ご協力を願いながら、神奈川県の介護支援専門員の資質向上を目指していきたいと思います。

青地前理事長

平成25年から、副理事長として４年間務め、その後平成29年に県協会が一般社団法人となり、第２期～ ５期までの４年間、理事長を務めさせていただきました。この間理事長業務を支えて頂いた会員の皆様、理事や事務局の方々に、心より感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。この４年間を振り返ると、一般社団法人に法人格が変わった際に、理事の選出を透明化するため、立候補制（選挙）に変更し、協会の様々な規定の見直しなども行ってまいりました。ターミナルケアマネジメント加算の創設時には、会員の皆様や制度改正調査研究委員会の委員の皆様の協力により、神奈川県介護支援専門員協会が寄与することができました。また、一番大きな出来事は、昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、世の中も大きく変わりましたが、協会の活動が大きく様変わりしたことです。今までは、当たり前のように、各委員会や部会は会議室に集まって開催し、研修会は、講義も演習も会場に集まって開催していましたが、今では、会議室に集まることはなくなり、会議はすべてオンラインとなりました。研修も、集合研修ができたとしても、感染予防のため、今までのようなグループワークができないことが殆どで、そのほかの研修は、オンライン化が進んでいます。また、日常業務の中では、常に新型コロナウイルス感染の恐怖と闘いながら、利用者さんと、向き合ってきました。私たち、介護支援専門員は、対人援助職です。やはり、対面して話ができることの大切さを切実に感じた１年となりました。

この１年は、思い描いていた活動ができず、「今、できることは何か」を模索しているうちに終わってしまい、「もっと、こんなことが出来たのではないか・・・」という、やり残した感じも残っています。

理事長という役職は降りますが、引き続き理事として、新理事長を支えながら、今後とも、協会の活動に微力ながら尽力させていただきたいと思います。

４年間お世話になり、ありがとうございました。

石田副理事長

これまでに引き続き、副理事長として主に事務局の担当を仰せつかりました。事務局では4名の職員を配し、会員である皆様の会員管理、各委員会や会議の事務、また、主な事業である研修ではスタッフを担っていいただいている委員の皆さんと運営に携わっています。事務局職員が働きやすい職場となり、当協会の事業や会計が適切に運営でき、会員の皆さまにご理解いただけるように努めてまいりたいと思っています。協会の事業規模は、神奈川県からの委託研修により大きくなってきています。更に会員数の拡大ができ、安定した協会運営が図られることを願っています。

今田副理事長

このたび、当協会の副理事長に就任致しました今田義昭でございます。私は平成21年から当協会の研修事業に参加してきました。その中で、多くの先輩方から研修運営に関わる注意事項や心構えを実践の中で学ばせていただきました。現在では、コロナウイルス感染予防に細心の注意をしながらの研修実施ということで、研修運営が大きく変わってきています。これからは今までの経験を活かし、新しい時代の方々に多くのことを伝えたいと考えています。このような大役を仰せつかるには誠に微力ではございますが、協会員皆様のご協力を賜りながら協会運営に尽力したいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

小薮副理事長

この度、副理事長に就任いたしました小薮基司と申します。私は平成23年より災害支援委員として活動し、令和元年に理事に就任いたしました。この一年以上の間、私たちは不透明な社会情勢の中で介護支援専門員としての活動を続けてきました。この先も私たちはコロナ以前とは違う世界で、利用者様に向き合っていくことになるのかもしれません。また、毎年のように起こる地震や風水害等の大きな災害も想定した業務の構築も迫られています。このような中で、一人一人の介護支援専門員が身近な地域や県域で助け合える仕組みをより強固にできるよう、力を尽くして参りたいと思います。微力ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

松川副理事長

この度、前期に引き続き副理事長を拝命いたしました松川竜也と申します。

NPO法人の時より理事及び副理事長として、主に制度改正・調査研究委員会を通じて、制度改正における調査や国への提言等を行い、加算の創設等に向けた取組などを担当してまいりました。

制度改正により、介護支援専門員に求められる質や役割は大きくなりつつあります。今後も地域の介護支援専門員における実態把握を行い、現場の声を国に届けつつ、介護支援専門員の地位の向上に向けて、そして子供たちが将来なりたいと思う職業となるよう取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いします。

山本副理事長

この度、副理事長を拝命いたしました山本玲子と申します。

協会が一般社団法人に移行した2017年から副理事長を務めさせていただいております。この間は、主にケアマネジャーの生涯研修体系構築に関連する分野において、法定内外の研修構築運営に関する活動やファシリテーター育成等に携わって参りました。協会においては、初任から主任介護支援専門員更新段階までの成長ステップに合致した課題設定や研修構築が整いつつありますが、今後は更に、講師およびファシリテーター育成やオンライン研修の構築が必要と考えます。そこで、引き続き神奈川県のケアマネジャーの資質向上を支援するために当該分野の充実に努力したいと思っております。また、その活動を通じて、協会運営における組織力向上にも貢献できたら、と考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

理事

第６期・７期理事

・青地千晴・天野宏一・岩本朋子・加藤由紀子・塩崎芳浩・杉原みどり

・中馬三和子・土田陽子・中西紀章・早野眞理・三上直樹・吉田光江

監事

・瀬戸恒彦・藏本隆

第６期・７期理事・監事

LINEを使った事業所間の情報連携

秦野市介護支援専門員協会　会長　近藤 真由美

この度の新型コロナウイルスの流行に関しては、ケアマネジャーとして、自分が感染しないことはもとより、現場のサービス調整にご苦労されていることと思います。

中でも、情報が入ってこない事での対応の遅れが、さらなる拡大につながることもありました。

秦野市介護支援専門員協会では４年ほど前に、ホームページを充実させるために委員会を立ち上げ、現在は随時の情報更新ができるように業務委託して、会員の皆様の役に立てるような情報提供をしています。

その際、当時のline@（現在のlineビジネス）の無料アカウントでホームページ更新のお知らせをしていこうというアイデアがあり、秦野市介護支援専門員協会のアカウントを作成。会員の皆様にQRコードでの登録をお願いしていました。

コロナウイルスの感染時は、時系列や対応状況等、行政からの指示があると思っていましたが、保健所と役所の連携はできておらず、デイサービスでの感染拡大が起こっても、行政の人が「そうなのですか？聞いていません」ということが続き、市役所と協議する中で、行政に対応をしてもらうのは、時間がかかるということがわかりました。

それならば、line@で正確な情報をいち早くケアマネに流して、感染拡大を防ぎ、迅速に対応できる体制を取ってみよう、考えました。

協会の事業部会で情報の収集や連携をお願いし、秦野市介護事業所連絡会や通所協会、ヘルパー協会、には「うわさ」で流れる前に、きちんとした情報を冷静に共有していきたい旨を話しました。感染がおこった事業所は連絡だけでも大変なうえ、検査の送迎や施設の消毒をする中で、聞きつけたケアマネからも確認の電話が入るなど、対応に追われます。お互いを守るためにやっていきましょうと事業所名も公表することを合意いただき、情報共有をスタートしました。

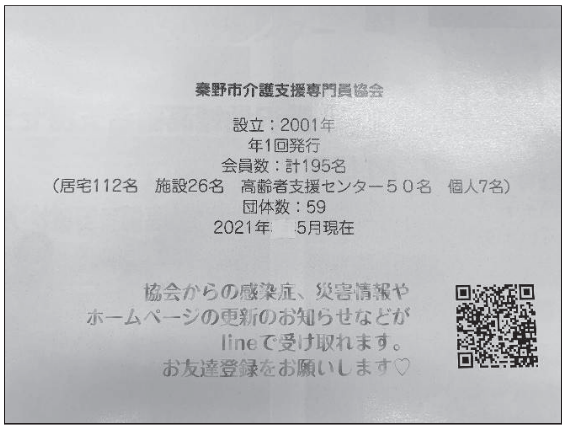
以下は手順です。
① 会員、またはサービス事業者から協会に発生の情報提供。
② 発生事業所へ直接協会から電話。発生日時、検査状況、保健所の指示、休業期間、感染者の状況など細かくヒアリングし、流す情報の範囲を合意する。
③ 即時、line＠で流す

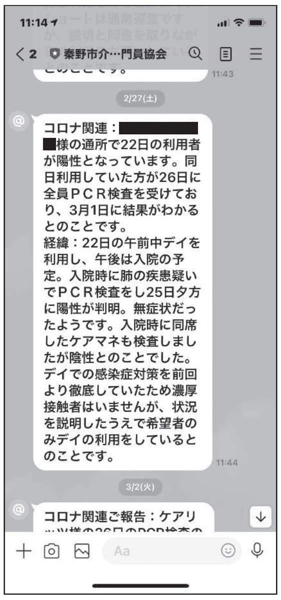
主治医を含め、連携先は多岐にわたりますが、ケアマネしかピンとこない連携先（利用者の娘が発生事業所に努めている、や当日福祉用具のモニタリングがあると聞いているなど）があるため、情報共有の迅速さには非常に大きな効果があると感じました。

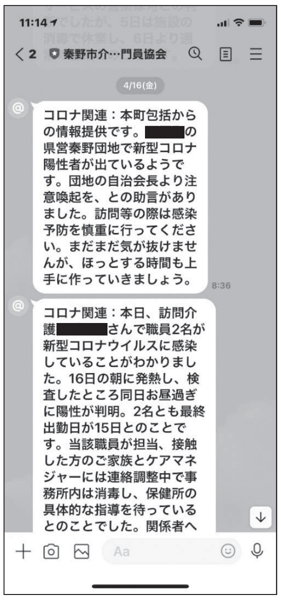
市や病院からは、「すぐにうちにも情報をください」と言われましたが、さすがに協会でそこまでの対応はできないので、「line＠に登録して拾ってください」とお願いし、情報はここでしか流さない仕組みにしました。おかげで、登録者は３倍に増えました。

双方向のやり取りができない事や、登録者の名前がわからないこともありますが、緊急時には利用できそうです。（lineビジネスは月の利用上限があり、超えると課金される仕組みです。高額ですので課金されないようご注意ください）

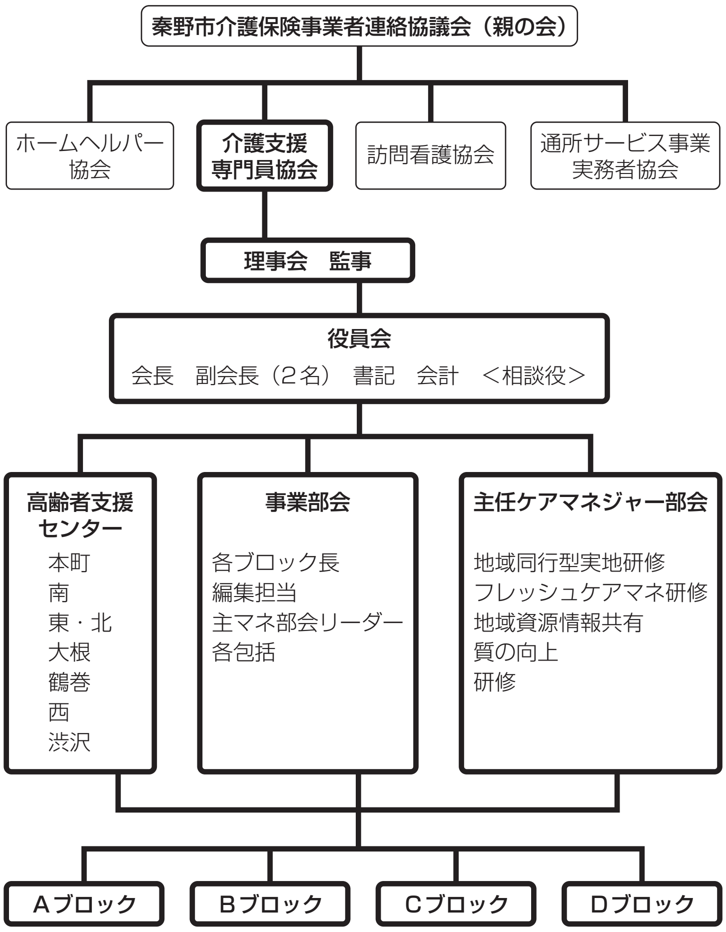
緊急事態下では、柔軟に、迅速に対応できる仕組みつくりの必要性を痛感しました。みんなで守りあう風土を作っていけたらいいなと思います。







2020年度
秦野市介護支援専門員協会組織図



2021年度　生涯研修体系構築・推進委員会による研修会のお知らせ

生涯研修体系構築・推進委員会　委員長　山本 玲子

本会は介護支援専門員の職能団体として、前身であるNPO法人の時代に遡り、神奈川県内の介護支援専門員に向けて資質向上と自己研鑽を図るべく、さまざまな研修や人材の育成を積極的に行なってまいりました。

今回は、2021年度における生涯研修体系構築・推進委員会の各部会による企画・運営研修事業（大別すると、【神奈川県受託研修】と【本会独自研修】の２種となります）を紹介いたします。

【神奈川県受託研修】

〇主任介護支援専門員研修：主任介護支援専門員を養成する研修

今年度は750人を対象に年２回、オンラインと集合の２方式で実施予定です。

〇主任介護支援専門員更新研修：主任介護支援専門員の更新要件となる研修

今年度は1000人を対象に年２回、オンラインと集合の２方式で実施予定です。

〇多職種連携研修

本会が、現任研修等支援会議において提案した「自己評価シート」の分析結果から派生し、受託に至った研修です。介護支援専門員の自己評価が低い項目に着目し、多職種との連携に関する内容とし、介護支援専門員の総合力強化を図ります。オンラインと集合の２方式で実施予定です。

〇地域包括支援センター職員研修

センター職員と市町村職員を対象に、地域包括支援センターの適切な運営を目的に実践力を高める研修を行います。

【本会独自研修】

〇講師・ファシリテーター研修

介護支援専門員を対象とした研修の講師やファシリテーターの質向上を図ることで、当該研修の平準化を目標に構築しています。2021年度以降、本会が運営する法定研修のファシリテーターについては、原則として当ファシリテーター研修のSTEP1～STEP5を修了した方に依頼していく方針です。そのため、前年度までの内容を改編しております。今後、ファシリテーターとしてご活躍いただくためにも、ぜひご受講ご検討ください。

〇ケアマネジメント基礎研修

前身は、改正前の『実務従事者基礎研修』ですが、実務研修に統合されたのちも本会独自研修として、主に初任者を対象に、介護支援専門員の業務の基本であるケアマネジメントプロセスに関する研修を実施してまいりました。現在では、経験年数10年以上の介護支援専門員の方が、「ICFや課題整理総括表、ケアマネジメントプロセスの再学習・再確認目的で受講」されることもあります。このように、基礎・基本について繰り返し学び、確認するよい機会としてご活用いただける内容となっておりますので、初任・中堅・ベテランを問わず奮って受講ください。今年度は特にICT化に対応した形で実施いたします。

〇ケアマネジメント向上研修

実務従者向けに、法定研修だけでは補えないような、より実践的かつケアマネジメントに関連する課題をテーマに介護支援専門員の成長ステップの各段階を意識して企画しています。より現場に即した内容となるよう、毎年度内容を吟味しています。今年度は、『疾患別ケアマネジメントの視点研修（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）』、『施設介護支援専門員研修（LIFEを活用したケアプラン作成）』、『（プロコーチによる）コーチング研修』、『対人援助（技術）研修』のラインナップで、オンラインとハイブリッド（オンラインと集合の同時開催）の２方式で実施いたします。

それぞれの研修の詳細や申し込み方法等については、開催が近づきましたら、本会ホームページや、あらかじめ登録された方にはメールでのお知らせをいたします。受講機会を逃さないためにも、メール配信登録をぜひご利用ください。

また、昨年度からコロナウイルス感染予防対策として、オンライン研修の企画が増えています（今年度も感染拡大状況によっては、集合→オンラインへ変更する研修もあるかもしれません）。他県では、法定研修をすべてオンラインで実施しているところもあるようですが、神奈川県はまだ試みが始まったばかりです。本会では、スムーズな運営や受講促進のため、当委員会各部横断的WEB研修体制構築ワーキングによって、マニュアル作成や研修会開催実施したところでもあります。

今後も会員の皆さま、地域連絡会協力団体の皆さま、県内の介護支援専門員の皆さまからのご意見やご要望もお聞きしながら、よりよい研修企画運営に努めてまいりたいと存じます。

「初めてのZoom研修」開催報告

WEB研修ワーキングチーム　須山 暢彦

生涯研修体系構築推進委員会の各部会の代表メンバーにて構成された「WEB研修ワーキングチーム」において企画した「初めてのZoom研修」を、４月21日、４月28日、５月15日の３回、それぞれ曜日と時間帯を変える形で開催いたしました。

コロナ禍においてICTの活用が加速し、研修においてもオンラインの形式が増えている中で、オンライン研修に参加するための基本的な事柄を学んでいただこう、という主旨の研修会です。研修時間は２時間弱ですが、前半の講義、後半の操作演習と、大きく分けて２部構成といたしました。

講義部分では、オンライン研修に参加するための心構え・ルール・マナーといった話を中心とし、それらを「グランドルール」としてまとめた上で解説を行いました。通常の研修におけるそれに加え、オンラインという状況において新たに生じてきた意識すべき事柄を知っていただくことができたのではないかと思います。

演習部分では、オンラインのツールとなる「Zoom」の基本的な操作を、ブレイクアウトセッション（グループ分け）機能を用いたグループワークにて体験していただきました。少人数で、ファシリテーターの進行のもと各操作を実際に行ってみることで、Zoomスキルの向上と併せて、オンラインにおけるグループワークの雰囲気というものを知る機会としても役立てていただけたのではないでしょうか。

研修の最後には、法定研修における「修了評価」を想定した取り組みについて体験していただきました。この体験においての今回の設問はアンケートを兼ねた内容といたしましたが、その回答からは、操作の習得や再確認、難しい操作の把握等、参加者の皆様それぞれの持ち帰りがあったことが伺え、研修開催の意義を改めて感じることができました。

最後に、この研修開催は私たち運営側にとっても、オンラインの運営スキルの向上や予想外の課題の発見など、今後の研修構築に生かせる大きな学び・収穫があったことを記して、研修報告を終えたいと思います。

神奈川県介護支援専門員協会グランドルール

1、安定した通信環境・静かな場所で行う。
2、イヤホン・ヘッドホン利用の推奨。
3、指定された名前で参加する。
4、基本的に音声は、ミュートにする。
5、カメラはオンにする。
6、リアクションは大袈裟に。
7、発言するときは、指名されてから話す。
8、何よりもオンライン研修を楽しむ。

KCMA

Zoomの開催の仕方

広報・出版委員会　髙砂 隆人

　リモート会議がすっかり仕事で必須のものとなりつつあります。すでにリモート会議に参加したことがある人は多いと思いますが、今度は自分で会議を主催してみませんか？主催といっても堅苦しいものではなく、ちょっと複数の仲間での打ち合わせを気楽に行うための簡単なご紹介をします。
　ここでは前回と同様に Zoom（ズーム）の例で紹介します。

◆Zoom のアカウントを作成

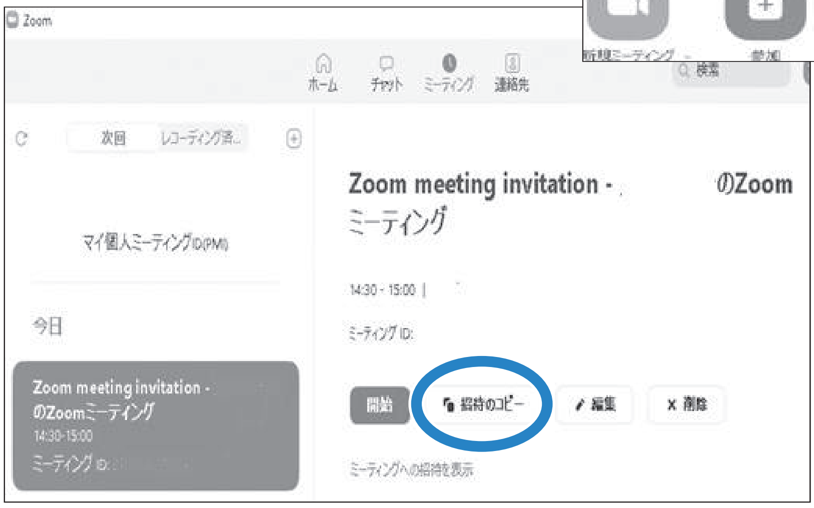
　Zoom の Web 会議に参加するだけならアカウントは不要ですが、自分が主催する場合は会員登録（サインアップ）をしてアカウントを取得する必要があります。PC を使った登録の方法は次の通りです。

・Zoomのサイトにアクセスして、
　サインアップは無料です をクリック。
・メールアドレスと生年月日を入力
・メールアドレスに届いたメールの
　登録ボタンをクリック
・名前とパスワードを登録する
・パソコン用のアプリをインストールする
　これで OK です

◆パソコンからオンラインミーティングを開催する方法

パソコンからWeb会議を開催する場合は以下の手順で行なってください。
・パソコンのZoomアプリを立ち上げ「 スケジュール」ボタンを押し、日時などの詳細情報を
　入力して **保存** ボタンを押す。

・アプリの上辺の「ミーティング」ボタンを
押すと、左画面にスケジュールで保存した会議が
表示されるので、それを選び 招待のコピー を
押すと会議アドレスなどの参加方法が
記された招待状がPCにコピーされます。



次に参加して欲しい人に対して、いつも使っているメールで一人一人招待します。
招待メールの本文には、 招待のコピー でコピーされた内容を貼り付けて（マウスの右ボタンで「貼り付け」）ください。メールのタイトルはあなたからの会議の招待だと判るようにしましょう。
これで準備は完了。

・会議のちょっと前に、上記のアプリの上辺の「ミーティング」の画面で
開始 を押して招待者が参加するのを待ちましょう。

（注）＊Zoom のサイトは「Zoom.us」で検索すると見つけやすいです
　　　＊Zoom の無料登録者による会議の開催は、参加者が 3 名以上の場合は 40 分という制限があるので
　　　　ご注意ください。

～神奈川県で働くケアマネジャーが日々思ったことなどを綴っていきます～

ケアマネリレーコラム

あかつき居宅介護支援センター　岡本 淳子

湯河原町の本多さんからバトンを受け取りました！「あかつき居宅介護支援センター」岡本淳子です。当事業所は足柄上郡５町の中の１つ、大井町にあります。皆さんご存知の目印としては、東名高速道路の大井松田インターチェンジがあります。

当事業所のエリアは、近隣の市町を提供エリアとして車でぐるぐると訪問しています。申請書等は、各保険者で異なるため、１日で数か所の市町をまたぐこともしばしばです。訪問先は山北町の三保ダムあたりまで、訪問したこともあります。

大井町には JR 御殿場線の駅が２駅通っています。「上大井駅」「相模金子駅」。どちらも無人駅です。電車は２～３両でワンマン運転（運転士さん１人）です。１時間に１本くらいしか出ていません。ケアマネジャーの研修は横浜が多いですが、１時間少々で到着しますの。コロナ禍のため、電車に乗り出かけることがほとんどなく過ごしていました。研修も ZOOM で開催される事が多い中、今年に入って久しぶりに神奈川県の会場での研修に参加しました。都会の横浜まで電車を利用。久しぶりすぎて、まず、電車に乗るのに大変緊張しました。マスクや消毒液を携帯し、年々歳を重ね、手すりにつかまらないとヨロヨロしてしまうことが多いこの頃。手すりにつかまり、その都度、消毒液をシューシュー。ランチは、お箸を使用した方が良いかなと思い、駅弁を購入（駅弁、久しぶりでワクワク）。万全の態勢で研修に臨みました。会場ではフェイスシールドが配られ、各テーブルには消毒液とアルコール入りのウエットティッシュが置かれていました。準備も大変だったのだろうと感謝です。グループワークは４人で組まれており、久しぶりの会場研修で元気や励ましをもらって帰りました。都会にでて、久しぶりの人混み。帰宅してからは、何となく不安になり、何度となく熱を測る。まだまだ、そんな日々が続くと思います。ケアマネジャーの仲間と食事（お酒があるとなお良し）をしながらいろいろ話せる日が早く来ることを祈って、また、明日も頑張るぞー。

次回は、ケアステーション優縁　浅田 敦子さんにバトンタッチ！

歴史こぼれ話 ～十二～

佐藤一斎（さとう いっさい）は、安永元年(1772)に、美濃岩村藩家老の次男として生まれた江戸後期の高名な儒学者です。一斎が四十余年をかけて著した『言志四録』（げんししろく）は西郷隆盛の愛読書として知られています。

『言志四録』は『言志録』（げんしろく）、『言志後録』（げんしこうろく）、『言志晩録』（げんしばんろく）、『言志耋録』（げんしてつろく）の四書の総称で、『言志晩録』六十条に以下の言葉が記されています。

「少にして学べば、すなわち壮にして為すこと有り。壮にして学べば、すなわち老いて衰えず。老いて学べば、すなわち死して朽ちず。」

（大意：年少の時に学べば、働き盛りの時に何事か成し遂げることができる。働き盛りの時に学べば、老いても気力が衰えることはない。老いてから学べば、社会の役に立つことができるので、亡くなってからも、その名は朽ちることはない。）

学びは生涯にわたって大切であり、学び始めるのに遅すぎるということはありません。人生100年時代、一斎のこの言葉を胸に、新たに何かを学び始めるのはいかがでしょうか。

（騒人）

編集後記

この度、16年務めた理事職を任期満了で退任し、併せて広報・出版委員会の委員長を中西理事に引き継ぎました。この間、NPO法人から一般社団法人へと転換され、執行部である理事会も会員が立候補する形となりました。

より会員のための協会へと移り替わった記念すべき「ケアマネ通信第1号」を発行した時のことが昨日のことのように思い出されます。どうしたら会員の皆様に読んでいただける広報紙となるか、毎回行われる委員会でのネタ集めは本当に大変でしたが、委員の皆さんの力により、何とかここまでやって来ることが出来ました。

そして、昨年からのコロナ禍では、リモートによる委員会の開催となり、横浜まで足を運ばなくてもよくなった楽さと、いつも顔を合わせて議論してきた仲間と会えない寂しさが入り混じった委員会運営・・・どれだけ協会に貢献できたのか、どれだけ会員の皆様に読んでもらえる広報紙を作れたのか、Facebookを通じてどれだけタイムリーな情報を発信できたのか、振り返ると反省ばかりです。

理事長も変わり、委員長も変わり、新たな第1歩を踏み出す記念すべき今号です。会員の皆様、これからもご意見やご感想などを忌憚なくお寄せ下さり、協会の発展にお力をお貸しください。本当にお世話になりました。

(い)

Information

第12号
2021
Aug.

■訃報

当協会　初代理事長　齊藤　学氏が令和３年１月19日に逝去されました。
ここに生前のご厚誼に深く感謝するとともに謹んでお知らせいたします。

■令和３年度賛助会員一覧（2021年４月１日現在）

- 公益社団法人神奈川県社会福祉士会
- 厚木医療福祉連絡会
- 公益社団法人神奈川県医師会
- 公益社団法人神奈川県歯科医師会
- 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
- 公益社団法人　神奈川県薬剤師会
- 中央法規出版株式会社
- 新日本法規出版株式会社
- 公益財団法人総合健康推進財団
- 株式会社モルテン
- ALSOK介護株式会社
- 三井不動産リアルティ株式会社
- 一般社団法人　かながわ福祉居住推進機構
- 株式会社ヘルスケア
- 株式会社メガネスーパー
- 大成祭典株式会社

■令和３年度「主任介護支援専門員研修及び主任介護支援更新研修」の日程

研修名	募集地域	実施期間	募集期間
主任介護支援専門員研修	県全域	2021年９月７日から2021年12月２日まで（オンライン・会場）	2021年6/1 ～ 6/30（終了）
		2021年12月～ 2022年３月まで（オンライン）	2021年９月（予定）
主任介護支援専門員更新研修	県全域	2021年９月22日～ 2021年11月30日まで（オンライン・会場）	2021年6/14 ～ 7/11（終了）
		2022年１月～３月まで（オンライン・会場）	2021年10月（予定）

◎編集 / 発行
一般社団法人
神奈川県介護支援専門員協会
広報・出版委員長　中西 紀章

Facebook
はこちら↑

ホームページ
ユーザーはこちら↑

Contact
一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会　事務局
〒231-0023
横浜市中区山下町23番地　日土地山下町ビル９階
TEL 045-671-0284　FAX　045-671-0287
E-mail　jimu@care-manager.or.jp
ＨＰ https://www.care-manager.or.jp/